

氏名	渡壁 晃	専攻	社会学専攻
		博士課程後期課程 在学時の指導教授	難波 功士 教授
研究領域	歴史社会学、計量社会学、戦争社会学、記憶の社会学		
研究題目	原爆の社会的記憶の歴史社会学		
所属学会	日本社会学会、関西社会学会、戦争社会学研究会、数理社会学会、社会学研究会、観光学会		
学歴 (学部入学から)	2014 年 4 月 関西学院大学社会学部社会学科 入学 2018 年 3 月 関西学院大学社会学部社会学科 卒業 2018 年 4 月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 入学 2020 年 3 月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程 修了 2020 年 4 月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程 入学 2024 年 3 月 関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程 修了		
教歴 担当授業科目	2015 年度 関西学院大学社会学部 LA（担当科目：基礎演習） 2016 年度～2017 年度 関西学院大学社会学部 LA（担当科目：基礎演習 B） 2017 年度 関西学院大学社会学部 LA（担当科目：比較社会演習 B） 2019 年度 関西学院大学社会学部 TA（担当科目：社会調査実習） 2022 年度～現在 関西学院大学社会学部非常勤講師（担当科目：基礎演習 A、基礎演習 B） 2023 年度 姫路獨協大学人間社会学群非常勤講師（担当科目：基礎数理） 2024 年度～現在 桃山学院大学社会学部非常勤講師（担当科目：社会学科ワークショップ） 2024 年度～現在 大手前大学現代社会学部非常勤講師 （担当科目：データサイエンス・リテラシー（社会調査士カリキュラム C 科目）、 社会統計法 I（社会調査士カリキュラム D 科目））		
研 究 業 績			
著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発表年月	掲載誌または発表場所	備考
【論文】 「〈原爆〉の記憶の継承における『当事者』」	2019 年 3 月	『KG 社会学批評』第 8 号、27-37 頁。	書評論文 単著 査読有
「広島における原爆関連行事の通時的変化（一）」	2021 年 3 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 136 号、87-101 頁。	単著 査読なし
「広島・長崎平和宣言からみた平和意識の変容」	2021 年 9 月	『社会学評論』286 号、118-134 頁。	単著 査読有
「広島における原爆関連行事の通時的変化（二）」	2021 年 10 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 137 号、113-132 頁。	単著 査読なし
「広島における原爆関連行事の通時的変化（三）」 （次ページへ続く）	2022 年 3 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 138 号、113-133 頁。	単著 査読なし

『『平和』を表現する方法——広島における原爆関連行事の社会史』	2023 年 2 月	『ソシオロジ』206 号、3-21 頁。	単著 査読有
「長崎における原爆関連行事の通時的変化（一）」	2023 年 3 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 140 号、123-137 頁。	単著 査読なし
『『先輩』慰霊の形成と展開——広島市における原爆関連慰霊行事の通時的分析』	2023 年 6 月	『戦争社会学研究』第 7 巻、220-239 頁。	単著 査読有
「長崎における原爆関連行事の通時的変化（二）」	2023 年 10 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 141 号、39-55 頁。	単著 査読なし
「長崎における原爆関連行事の通時的変化（三）」	2024 年 3 月	『関西学院大学社会学部紀要』第 142 号、81-98 頁。	単著 査読なし リポジトリ登録作業中
【研究ノート】 「ドイツ・ベルリンの「虐殺されたヨーロッパのユダヤ人のための記念碑」に関する新聞報道の量的変化：冷戦後のドイツにおけるホロコースト」	2021 年 3 月	『関西学院大学先端社会研究所紀要』第 18 号、85-91 頁。	単著 査読なし
【学位論文】 「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」	2018 年 1 月	関西学院大学社会学部 卒業論文	「社会学部優秀論文賞（安田賞）」（関西学院大学社会学部）受賞
「ヒロシマに関する行事の歴史社会学——社会における『平和』の通時的変化を中心に」	2020 年 1 月	関西学院大学大学院社会学研究科 修士論文	
「被爆地における平和意識の変容——平和宣言・反戦反核行事・慰霊行事からみた遍在化のプロセス」	2024 年 3 月	関西学院大学 博士学位論文	
(次ページへ続く)			

【研究報告】 「ダークツーリズム論の課題と可能性」	2017 年 7 月	観光学術学会 第 6 回大会 (神戸山手大学)	ポスター発表 (単独) 「学部学生発表奨励賞」(観光学術学会) 受賞 この業績に関連して「社会学部賞」(関西学院大学社会学部) を受賞
「広島はヒロシマにどのように向き合ってきたのか——ヒロシマに関する行事と『生者—死者』の関係性について」	2018 年 6 月	第 69 回関西社会学会大会 (松山大学)	口頭発表 (単独) 「関西社会学会大会奨励賞」 (関西社会学会) 受賞
Recalling “catastrophe”: An analysis of the events relating to the Atomic Bomb of Hiroshima	2018 年 6 月	2nd Postgraduate Conference in Japanese Studies (Kwansei Gakuin University)	ポスター発表 (単独)
「平和宣言の計量テキスト分析——広島長崎両市の市長声明にみる『平和』の通時的変容」	2020 年 7 月	第 11 回戦争社会学研究会大会 (オンライン)	口頭発表 (単独) 新型コロナウイルスの影響で4月の大会が中止となった代替措置として例会で報告 (業績としては大会発表扱い)
「被爆地における平和意識の変容——広島・長崎平和宣言の計量テキスト分析」	2020 年 9 月	第 69 回数理社会学会大会 (オンライン)	ポスター発表 (単独)
「平和式典におけることばの計量テキスト分析——ヒロシマ・ナガサキからみた戦後日本の『平和』意識の変容」	2020 年 10 月	第 71 回関西社会学会大会 (オンライン)	口頭発表 (単独)
「平和宣言の計量的分析——戦後の広島・長崎における平和意識」	2020 年 10 月	第 93 回日本社会学会大会 (オンライン)	口頭発表 (単独)
(次ページへ続く)			

「広島における『先輩慰霊の形成と展開——原爆関連慰霊行事の通時的分析』	2022 年 4 月	第 13 回戦争社会学研究会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
「原水禁運動から平和教育、そして芸術・スポーツへ——広島における原爆に関する行事の社会史」	2022 年 5 月	第 73 回関西社会学会大会（オンライン）	口頭発表（単独）
「戦争死者慰霊における「先輩—後輩」関係——広島市内の原爆関連慰霊行事の通時的分析」	2022 年 11 月	第 95 回日本社会学会大会（追手門学院大学）	口頭発表（単独）
「新聞記事からみた原爆の記憶——原爆忌前後の『中国新聞』と『長崎新聞』の報道における原爆関連行事を事例に」	2023 年 1 月	第 52 回大阪メディア文化史研究会（同志社大学）	口頭発表（単独）
「平和運動の脱政治化と若年化——長崎における原爆に関する行事の社会史」	2023 年 5 月	第 74 回関西社会学会大会（京都先端科学大学）	口頭発表（単独）
「原爆記念日の『中国新聞』社説の計量テキスト分析」	2024 年 5 月（予定）	第 75 回関西社会学会大会（大和大学）	口頭発表（単独）
【報告書】 「『同化』から『応化』へ——沖縄・本土関係の歴史的変容」	2017 年 3 月	渡壁晃・塚本顕成編，2017，『「多民族共生」社会について～フィールドワークを通じた日台比較～』関西学院大学社会学部。	単著 平成 26 年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業 2016 年度比較社会演習 A 報告書
「近代国家と戦争の記憶——第 2 次世界大戦におけるホロコーストを事例に」	2020 年 3 月	『関西学院大学先端社会研究所紀要』第 17 号、112-113 頁。	単著 2019 年度先端社会研究所リサーチコンペ中間報告